

幼保小の **架け橋** プログラムだより

このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。架け橋期の教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。

横浜版接続期カリキュラム実践事例集（第9集）刊行！！

今と未来を生きる子どもにとって大切な力や、その力を育むための工夫を、幼保小の教職員はもとより、子どもに関わる大人がみんなで一緒に考え、語り合えるよう、市内の小学校、保育・幼児教育施設の取組を「実践事例集」にまとめました。



第8集と同じコンパクトな A5 サイズです。今回の事例集は、「架け橋ページ」と「実践事例ページ」の二本立てになっています。



「実践事例ページ」では、1歳児から小学校2学年までの計14実践を紹介しています。遊びの中の「学び」を、子どもの姿を中心に伝えています。

「架け橋ページ」では、『「立場の違いを超えた連携・協働」とはどのようなものか?』に答える取組を4地区の実践を通して紹介します。



こんな活用はいかがでしょう?
幼保小交流を「園児を招いて一緒に遊ぶ」「園児に小学校体験をさせてあげる」からもう一歩進めるために、「これならうちでもできるかな」をブロックの園長校長会や担当者会で話題にするのはどうでしょう。

こんな活用はいかがでしょう?
生き生きとした子どもの姿が写真でたくさん紹介されています。1枚取り上げて、そこから子どものどんな育ちや学びが見取れるか、自由に話し合ってみましょう。メンター研等、経験の浅い保育士・教諭におすすめです。

こんな活用はいかがでしょう?
「学ぶ」は「真似る」から、といえますね。面白そうだなと思った実践を自分の園や学校でできる形にアレンジして取り組んでみるのはどうでしょう。目の前の子どもが違えば新たな発見もあるはずですよ。

<配付（2月下旬）・購入について>

- (1)市内の保育・幼児教育施設・市立小学校・市立義務教育学校・市立特別支援学校と、区こども家庭支援課・図書館等の関係機関に配付します。
- (2)横浜市庁舎3階 市政刊行物・グッズ販売コーナーで **3月1日より販売¥500-**

【連絡】 来年度も幼保小連携推進地区事業・カリキュラム研究推進地区事業を実施します。園と近隣や連携先の小学校で相談され、**双方の意向がありましたら、小学校から地区として申請してください。**詳しくは教育委員会から学校便利帳にて発出されますので、小学校関係者の皆様ご確認ください。